

# 内科

## (1) 一般目標

内科における基本的態度・技術を習得し、診療を行う上での医療全般にわたる基礎を習得する。

## (2) 行動目標

- ① 医師としての自覚と、患者やスタッフに対する基本的な態度、マナーを身につける。
- ② 良好な医師患者関係を確立できる。
- ③ チーム医療を理解し、行動する力を身につける。
- ④ 問診の聴取や基本的な理学所見が得られ、記録することができる。
- ⑤ 問診、理学所見、各種検査の情報から、問題点を整理、抽出し、その解決に必要な診断・治療・教育計画を立案でき、記録できる。
- ⑥ 症例のプレゼンテーションができる。
- ⑦ 基本的医療技術について理解し、施行し、また介助ができる。
- ⑧ 内科における各種検査の特徴を把握し、施行し、その結果の意義を理解し、説明できる。
- ⑨ 一般的な治療を理解し施行できる。
- ⑩ 内科学全体の基本的知識をもつ。文献検索を行うことができる。

## (3) 研修スケジュール

必修研修では、3つの内科病棟（5G、5F、5H病棟）のローテイト研修を行う。それぞれの病棟には、一般内科はもとより、消化器、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝（糖尿病）の専門性の高い疾患の症例が多く入院している。各指導医のもとに、上記の目標及び厚生労働省卒後臨床研修目標を達せられるように研修を行う。また、当院は消化器疾患が多く、腹部超音波、上部消化管内視鏡検査を必須とし、指導医のもと多数の症例を経験する。選択研修では、1～12ヶ月間に消化器、血液、循環器、内分泌代謝（糖尿病）、呼吸器のうち1つから複数を選び、更に内科の診療力を高められるようにし、将来の専門医への橋渡しを行う。内科におけるプライマリケアの能力はきわめて重要であり、救急医療に関しては、研修期間中は、常時、指導を行っていく。当直研修では、指導医とペアになって、救急対応を行う。また、内科症例検討会、抄読会、消化器画像読影会などを定期的に行っており、出席し、高い臨床の力を身につける。また当院は、内科学会教育認定施設となっており、将来、内科認定医・総合専門医をめざす医師には、このための指導も行っていく。